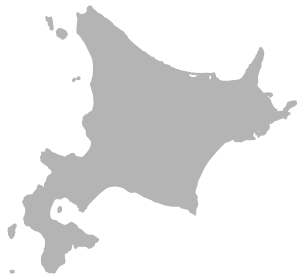


北海道NPO情報



NPO推進北海道会議
北海道NPOサポートセンター
北海道NPOバンク
NPOバンク事業組合
北海道NPO越智基金

発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価 100円

【2005年11月号】

市民活動を支える制度を強化しよう！

もくじ

ページ

NPO法人会計講座開講 / 助成金シンポジウム報告	2
市民活動全道フォーラム2005報告	2~3
コミュサポ / コラム	4
研修日記 / バンク情報 / 法人数 / 福祉NPOと福祉の まち推進センターとのネットワークを考える研修会	5
NPOサポート事業紹介	6
「協働環境調査」報告会 / C・B支援事業	7
NPOな・・・(書籍・イベント紹介)	8
情報BOX	9~10
助成金情報	10~12



厚生労働省委託事業

「コミュニティ・ビジネス起業支援講座」開講します 受講料**無料**

中高年齢者(団塊の世代)、退職者、主婦対象(定員20人)

11月5・12・19・26日、12月3日(全て土曜日)10:00~15:00

会場 / 北海道NPOサポートセンター 研修室

(札幌市中央区北5条西6丁目2 札通ビル8階 札幌駅から西へ徒歩約5分)

お申込みお待ち
しております

【カリキュラム】

- 第1講 コミュニティ・ビジネス起業 (小林董信 北海道NPOサポートセンター事務局長)
- 第2講 コミュニティ・ビジネス入門 (河西邦人 札幌学院大学大学院教授)
- 第3講 法人格を知ろう (大滝和子 司法書士)
- 第4講 起業の“タネ”はどこにある? (松本公洋 北海道NPOサポートセンタースタッフ)
- 第5講~第6講 夢を事業計画へ (松本公洋 北海道NPOサポートセンタースタッフ)
- 第7講 コミュニティ・ビジネスの資金調達 (瀧谷和隆 税理士、北村美恵子 NPO越智基金事務局長)
- 第8講 コミュニティ・ビジネスの事業運営 (小林董信 北海道NPOサポートセンター事務局長、
小神英男 社会保険労務士・行政書士)
- 第9講 コミュニティ・ビジネスのマーケティング (河西邦人 札幌学院大学大学院教授)
- 第10講 まとめのワークショップ (松本公洋 北海道NPOサポートセンタースタッフ、
山本純子 北海道NPOサポートセンタースタッフ)

カリキュラム等は変更する場合がございますのでご了承ください。

お問合せ・お申込み / 北海道NPOサポートセンター・相談センター

住所・氏名・年齢・連絡先等をFAXまたは、Eメールにてお送りください。

TEL 011-271-5208 (担当:松本) FAX 011-281-8807 Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

締切 / 定員になり次第(先着順) 主催 / NPO法人 北海道NPOサポートセンター

起業相談(無料)実施中。上記までお問い合わせください。上記講座のほか、若年ニート、フリーターを対象とした

「社会参加講習」(定員20名)(受講料無料)も開催します。 7ページ参照

NPO法人会計講座開講のお知らせ

～短期集中5回講座 11月11日開講～

毎回ご好評いただいている会計講座のご案内です。簿記の基礎を学び、NPOならではの勘定科目を使った仕訳（振替伝票記入）等の練習問題をやってみます。講習時に使用する会計ソフトは「会計王5 NPO Limited」です。ソフトの扱い方を中心にパソコン入力もたくさん練習します。最終的には決算書を作成し、財務諸表の見方などを学びます。

今回は講習中に、個別質問に対応する時間を用意して、それぞれの団体の事情に合わせたアドバイスができるようカリキュラムを組んでいます。ご参加ください。

日時 / 第1回 11月11日(金) 18:00～20:00 第2回 11月12日(土) 14:00～16:00
 第3回 11月18日(金) 18:00～20:00 第4回 11月19日(土) 14:00～16:00
 第5回 11月25日(金) 18:00～20:00

場 所 / 北海道NPOサポートセンター会議室（札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2階）

講 師 / 小沼 千佳子（北海道NPOサポートセンター会計担当）

定 員 / 10名程度（最少催行人員3名）

受講料 / 10,500円（税込み、初回納入）

締切り / 11月9日（水）先着順。（定員になり次第締め切ります。）

参加対象者 / パソコンの文字入力できる方

問合せ・申込み / TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp（担当 小沼・神）

主 催 / NPO法人北海道NPOサポートセンター

10月8日 助成金シンポジウム 報告

10月8日（土）、地域社会が直面している問題について生の声を聞き、団体の交流を深めることを目的に「地域社会の活性化と助成団体の役割」と題して、NPO支援財団研究会・平成17年度シンポジウムが開催され、基調講演やパネルディスカッション、交流会に約80名の方が参加されました。

「NPOが北海道を変えた」をテーマにした基調講演では、樽見弘紀氏（北海学園大学教授）がNPO法の施行から今日までをふり振り返りながら、「NPOと自治体がひとつの庁舎に入って一緒に仕事をするのもいいのではないか」など、数々のNPOにまつわる話をされました。

続いて、三菱財団の石崎登氏などNPOや行政など5名のパネリストによるパネルディスカッションでは、各所属先の紹介をはじめ、それぞれの立場から助成金等のあり方について意見が出されました。

この中で、札幌市市民活動促進担当課課長の渡辺氏は「市民のお金が回る仕組みづくりや、協働のプロセス評価が重要だ」と述べる一方で、秋山財団の秋山氏は行政が出す委託事業に関して、「行政は民間の邪魔をしないこと。民間のダイナミズムとスピードに期待して欲しい」など、率直な意見が聞かれました。（報告：松本 洋洋）

市民活動全道フォーラム2005 報告

今年で5回目になる市民活動全道フォーラムが10月2日(日)かでの2・7で開催されました。I I H O E代表・川北秀人さんの基調講演はじめ、道内69の市民活動団体が参加したパネル展示や、9つの分科会、5つの相談コーナー、クラフトコーナー、また交流広場では書籍やフェアトレード品の展示、スキンカモフラージュの体験コーナーなど盛りだくさんな内容で、200名以上が参加しました。それぞれの担当団体から寄せられた報告から、抜粋して以下に記載します。

参加枠・テーマ	内 容
基調講演 (NPOと行政とのより深い協働をめざして - 全国主要自治体の協働環境調査を通じて)	行政とNPOの協働事例7件を通して、より良い関係で協働するにはどのようなことが必要かの講演。NPOは地域のニーズを汲み取る事による公益を目指すべきと、NPO活動のあり方を再確認することから講演はスタート。行政サイドでのNPOに対する誤解も指摘。主にコスト削減のためにNPOを利用している面。行政は如何にNPOからの提案を受け止める協働環境をつくるかが大切と、今年度の「協働環境に関する調査」の結果をもとに説明。 より良い協働のあり方を説明するための事例は、どれもアイデア豊富に参考となることばかりで、相互が「自動」すべきであるという川北講師の目指す協働をわかりやすく学ぶ事が出来た。

分科会1 (協働のわからん・こまった引き受けます)	協働とは何か、コミュニティ・ビジネス(以下CB)など、幅広い視点から、市民、企業、行政の各セクター間の協働が論議された。協働を説明できないという質問に、川北氏は「協働とは市民参加と専門性を併せ持つもの。専門性とコストを競う競争入札とは違い、安上がりな手法ではない。各セクターが互いに汗をかき、1+1が2以上の効果を生むもの。」と述べた。CBでは地域通貨「湯路」が話題の別府市をはじめ各地の事例から、参加者は協働による商店街活性化のヒントを得た。
分科会2 (ファシリテーション入門 - 市民活動における「促進」の役割とは)	アイスブレイキング : 参加者の緊張をほぐし、参加者同士の距離を近づけるための活動を体験し、促進の最初のステップである導入部分。 問題解決の演習 : 2組に分かれて問題解決の演習。会議の中での自分の行動を振り返って、どのような行動が会議の促進につながるのかを考えた。 ファシリテーションの技術 : 演習を振り返るとともに、会議などの展開の仕方、参加者への呼びかけなど、促進の技術について講義。 登別市ネイチャーセンターの事例紹介 : 行政・市民・NPOがフラットな関係性のもとで成長を続ける登別市ネイチャーセンターの事例をもとに、市民活動の促進について考えた。
分科会3 (フェアトレードって? - 東ティモールコーヒーを通して)	越田さんの「フェアトレードはあなたを変える、でも世界を変えるか」という話からスタート。普段の買い物とフェアトレードの違いについてなど。その後、BSで放送された東ティモールの番組を見て、東さんが、2005年8月に東ティモールを訪問した際の話と、どのような流れでコーヒーが販売されているかを紹介。東ティモールのフェアトレードコーヒーを飲みながら、そのコーヒーを生産している人々がどのような生活をしているのか、彼らが日々飲んでいるコーヒー作りを体験しながら、参加者からの質問を受けつつ多面的な議論をした。
分科会4 (NGO・NPOの政策提言 - 政策提言のためのネットワーク、仕組みづくり)	北海学園大学の樽見さんから、協働に至るまでの経緯、協働への懸念、その対策等大きな枠組みについて、北海道大学の宮内さんからは行政とNPOが望ましい形で協働を行なうための仕組みづくりについて各地での取組みなどの具体的な事例を交え、話があった。それら提言をもとに、市民活動に携わっている方々の事例を交えながら、札幌における市民活動団体と行政との協働の現状と問題点と今後の対応についてのディスカッション。市民活動団体と行政の対等な関係を保証する仕組みや市民活動団体同士の連携が必要であるという意見が出た。
分科会5 再発見! 心を潤す遊びとおもちゃ	開始前の時間帯で早くも木の砂場やおもちゃに興味深く関わりだした参加者(特に男性)の様子が印象的だった。札幌近郊の市町からの参加者から「自分の暮す町にも、年齢に関係なく遊びやおもちゃを体感できる場を作りたい」という声も聞かれ、地域に広がる事で「世代間交流」や「暮らしと遊びの共存」が文化になれば良いと感じた。ルール通りの遊び方という概念に捉われず、どんな楽しみ方ができるかを考える事で、ワークショップでのコミュニケーションもスムーズにできていたと思う。
分科会6 (共生・共存・共栄 - ともに生きよう・支えあって! 分かちあって!)	各団体の活動は市民の声として貴重なもの。誠意をもって推し進める必要がある。しかし、活動は内容範囲が限定されるので、他への働きかけも限定される。各団体間の連携を一層深める必要がある。各団体は社会的ニーズの各部会相当を担当し、活動してきた。全体を総合すれば、より多大な効果が期待できる。地味ではあるが継続を…。道東からの参加者、(社)札幌消費者協会からの参加も得て、活動の連携・広がり・深まりに大きな弾みとなる。
分科会7 (老いて一層豊かさ加わる暮らし)	「ボランティア団体を立ち上げているが、人がなかなか集まらない! どうしたら良いのか」という問いかけに対して、良い事をしようとする幅が狭くなってしまっているので、すそのを広くして選択肢を多くしていくことが人のかかわりを作っていくのではないだろうか。
分科会8 (これでいいのか 指定管理者制度)	問題点提起 : 制度が広く市民に理解されているか。議会の審議が短期間で、論議が十分に尽くされているか。公募期間が短く、新規参入の団体が実質的に対等な競争ができるのか。 江別市の事例 : 予想以上に応募が多かった。募集期間の短さが議会で問題となった。募集に至る経過の中で情報がなかなか出てこない。 参加者 : 議会の論議が低調だった。短い期間で応募に必要な資料が作れるのか。今後、調査研究だけでなく公募参加、受け皿組織づくりの活動が提起され、取り組むこととなった。
第9分科会 (障がい者福祉から考えるまちづくり研修会 - まとめのフォーラム) 協賛企画	総合相談窓口 : 支庁圏域で設置される「障害者総合相談支援センター」を活用しながら、障害の種別にかかわらず何でも相談できる窓口の市町村単位での設置を求めていく。 支援団体の役割 : 事業所は利用者にとって何が最善なのかを考えるマネジメント力を身につける。人材育成に力を注ぐ。育成会は社会的障がい者理解が進むよう、啓発活動などを行なう。行政は情報公開を積極的に進め、施策の説明方法を工夫する。 地域連携 : 広域圏でのネットワークを活用し利用者の移動や連絡をコーディネートする。
スキンカモフラージュサービス	技術を知りたいということで2名の女性が来室。室蘭から車をとばして相談のため来られたご夫婦には、時間が過ぎていたので十分な施術はできなかったが、喜んで帰っていただいた。今後につなげることができた。
ボランティア相談コーナー	相談件数6件。主な相談内容は、会員向け広報、市民向け広報、行政との関係、HPのメリット、月刊ボラナビへの掲載依頼、低予算での広報手段、ビラ配布より効果的な広報、登録会員のインターネット環境など。おおまかな問題は同じでも、手段になると相談内容は多岐にわたるものだった。
会計相談コーナー	会計にテーマを絞り、3名で対応した。会計ソフトのチラシや関連本の展示も行った。相談者は3名。2名は、団体を立ち上げたばかりの相談。もう1名は、既に会計業務は軌道に乗っており、より正確な処理を行いたいとの相談で、お勤めの書籍を伝えた。



今年もやっています！コミュサポ事業

昨年度札幌広域圏（石狩支庁管内）8市町村で地域サポーター団体13団体とホームページ作成希望の110団体が参加して、コミュサポ事業を展開してきました。今年度は、新たに昨年参加した団体が新しい団体のサポートに廻るといった枠組みで取り組みます。地域のまちづくりを目標に、無料のホームページ作成ソフト「WEB Maker」をツールとして札幌広域圏組合の「コミュサポ」サーバーに市民活動団体100団体のホームページをアップする予定です。

札幌広域圏管内（札幌、石狩（厚田、浜益）、当別、新篠津、江別、北広島、恵庭、千歳）の8市町村に所在する市民活動団体対象）の市民活動団体のみなさまへ。

地域で活動するボランティア、市民活動グループ、NPOなどの皆さん、自分たちの活動をホームページで紹介してみませんか？「でも、詳しい知識がないからなあ…」そんな心配はいりません。札幌広域圏組合の「コミュサポ」が、皆さんのホームページ運営を応援します。

コミュサポに参加し、団体のホームページ作りませんか！

昨年度に引き続き「コミュサポ」参加団体を募っています。今年度も6月以降30団体が新たに参加し、140団体がコミュサポサイトを活用しています。管内のより多くの市民活動団体が参加することによって、団体同士の横の連携も模索しています。是非参加してください。

▶ **募集・利用料** 募集团体数:100団体 **利用料:無料**

▶ **参加申込** 「参加団体登録申請書」を参加団体の住所がある各市町村の担当窓口、直接持参、FAXのいずれかの方法で提出してください。

「参加団体登録申請書」は各市町村の担当窓口で配布しています。また、北海道NPOサポートセンターホームページからダウンロードすることもできます。各市町村の提出窓口は、札幌広域圏組合事務局までお問い合わせください。

受付期間：2005年5月10日より--100団体になるまで！！

札幌広域圏組合 〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目明治安田生命札幌北一条西ビル3階

TEL：011-290-1313 FAX：011-290-1311

サポセンスタッフの落書きコラム

今年のプロ野球もペナントレースが終わり、日本シリーズも始まりました。（このNPO情報が出る頃には、もう決着がついているかも）札幌に日本ハムが来て2年が経ちまして、パ・リーグは日ハムを応援していますが、プロ野球全体でみると、私は生粋のヤクルトファンだったりします。（4歳ぐらいから応援し続けています・・・）

さて、ヤクルトと言えば監督が代わりましたが、退任する若松さんは北海道出身者ではじめてプロ野球の監督になりましたよね。7年間で何度もAクラス入りし、日本一にも輝き、有終の美といえるのではないのでしょうか。

ところで、ご存知の通り次の監督は捕手の古田選手に決まり、プレイングマネージャーとしての活躍が期待されています。プレイングマネージャーとは、「選手兼任監督」ということですから、文字通り選手として試合にも出て、チームをマネジメントするということになりますよね。

そこでふと思ったのが、“NPOの事務局長って、プレイングマネージャーだよなあ～”と。比較的小さな企業でも同じことが言えるかもしれませんが、スタッフと同列で動き、何かのプロジェクトで最後に並んで動いたりすることは、一般の企業ではあり得ないですもんね。ましてや、四六時中机に向かって、ハンコだけ押ししていればいいというようなことはありえません。

いろいろな団体の事務局長さんを見ていると「大変そうだなあ」と思ってしまいますが、事務局長さんたちはそんなことを知ってか知らずか、とっても生き生きした目をしていきますよね。

その原動力とは何ぞや。NPOって奥が深いですなあ。

（松本 公洋）

NPO研修日記

2005年度 その7



谷口 直子

「サポセンの縁」

10月初旬、サポセンの事業の関係で、昼間のススキノに2時間ほどいたときのこと。帰りがけ、突然「たにこう？」と、なつかしい昔のあだ名で声を掛けられ、振り向くとひとりの女性が立っていました。

なんと、高校時代の友人でした。もう15年も会っていなかったのですが、すっかりすてきな大人の女性になっていて、名前を聞くまで本当にわからなかったのです。それにひきかえ、自分はずっとも変わっていないのだから・・・と、正直ちょっと哀しくもありました。

なにはともあれ、後日改めて食事をしながらゆっくり話を聞くことができました。いわゆる無難な人生を送ってきた自分とは異なり、いろいろな苦労を重ねてきた彼女の15年。その経験があったからこそ、今の彼女があるのだと納得しました。話を聞いているうちに、彼女の前向きな姿勢と根性とやる気、そしてあきらめない強さが伝わってきて、自分ももっといろいろなことから逃げずに向き合っていきたいと思うようになりました。

サポセンに来てからこれまでの間、たくさんの人たちとの出会いがあり、様々な物事のとりえ方や考え方を伺い、勇気と元気をいただけてきましたが、今回は思いがけず旧友との再会まで果たすことができました。サポセンが運んでくれたこのご縁に心から感謝！

NPOバンク融資申込みのお知らせ

第14回融資申込期間(予定)1月18日から2月2日まで/融資実行3月中旬
融資申込みに際して必要な書類は下記URLから取り出せます。

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F
北海道NPOサポートセンター内 TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524
npobank@npo-hokkaido.org http://npo-hokkaido.org/bank_hp/index.htm

特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npo/data/pref.html>

全国の申請受理数「内閣府・北海道含む」 8月31日現在 (内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	24385	23186	165	490
道内の申請受理数 9月30日現在 (北海道)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	924	900	0	21

北海道内のNPO認証状況は道庁HP <http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

札幌市ボランティア研修センター

「福祉NPOと福祉のまち推進センターとのネットワークを考える研修会」

日時 11月25日(金) 13:00~16:00 会場 札幌市中央区北1条西9丁目リンケージプラザ2F

対象 福祉NPO法人スタッフ、または福祉のまち推進センター関係者

内容 13:00-14:30 講義「地区福祉のまち推進センターとNPOによる新たなネットワークを考える」

北海道NPOサポートセンター事務局長小林董信

14:30-16:00 活動発表「地区福祉のまち推進センター及びNPOからのネットワーク活動報告」

NPO実践者、地区福祉のまち推進センター実践者

定員 30名 受講料 無料 問い合わせ・申込 札幌市ボランティア研修センター

TEL 223-6005 FAX 261-8881 E-mail: vc@sapporo-shakyo.or.jp

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位：円，税込)

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-271-5208

2004.7.1 改定

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料) 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月～6ヶ月)		基本料金	21,000～
NPO 法人代表印	登記に必要な法人代表者印鑑です(送料別)	1本	11,000
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します。	1枚	210
印刷(予約制) 黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は 良心的な印刷所を紹介)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します。 基本料金は製版1枚、紙代込みの場合です。 (厚紙や色紙は少し高くなります。 ご相談ください) A3まで印刷可、10枚以上～(両面は片面の倍)	片面 B5 1,000枚	2,738
		片面 A4 1,000枚	2,738
		片面 B4 1,000枚	3,438
		片面 A3 1,000枚	4,838
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します。(100枚単位) 片面初版代: 315円、 両面初版代: 525円が別途かかります。	片面 カラー	1,470
		片面 白黒	1,050
		両面 カラー	2,310
		両面 白黒	1,890
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅42cm)に印刷します。	片面のみ	1,575～
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	210
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります。	5枚以上 1枚	4,515
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	63～
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、 提出までのサポートを行います。	介護保険 1事業所	10,500～
		支援費 1事業所	7,350～
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします。	1事業所	2,625～

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門家会議メンバー等による相談を随時受け付けております。(NPOサポセンスタッフが聞きし専門家にお伝えします)

法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの専門家のアドバイスをいただいています。NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産鑑定士、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階 IP 050-7541-4799

電話番号011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間10:00～18:00(土、日、祝日は休む時があります)

北海道NPOサポートセンター相談センター・研修室 / NPO推進北海道会議分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階

電話番号 011-271-5208, FAX番号 011-281-8807

通常業務時間10:00～18:00(月～土)(日、祝日休み) IP電話 050-7543-3291

引越し・旅行・車検のことなら「**札通”はこび愛ネット”**」をご利用ください! ご存知かもしれませんが、飛んでけ! 車いすの会をはじめ札幌チャレンジドなど10団体ほどが参加しているもので、札通さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して!」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。**どうやって利用するの?**申し込みはとても簡単。下記の「はこび愛ネット」推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行(札通トラベル)、車検・自動車修理(札通自工)と文房具(札通商事)などの購入です(一部対象外あり)。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札通「はこび愛ネット」推進事務局

TEL(011)251-4111内線250番 FAX(011)231-7063

予告「協働環境調査」報告会 ～よりよい協働を生み育てる環境はどこまで進んだ?～

近年、NPOと自治体との「協働」については、理念や考え方の整理が進み、具体的な実践も徐々に進んでいます。しかし一方で、協働のルールやしきみが不十分のために、本来あるべき協働に結びついていないことも少なくありません。

**協働担当自治体職員
のみなさま必見!**

そこで、本来あるべき協働を実現するための基盤となる「協働環境」は、どれだけ整っているのかについて、全国の都道府県と主な市・区(計210自治体)の現状を、全国26か所の市民活動支援センターのご協力を得て、「第2回都道府県・主要市におけるNPOとの協働環境に関する調査」としてまとめました。

この調査報告書をもとに、全国や地域の現状や、昨年から今年への変化など、協働環境の最新動向を報告し、課題を共有する報告会を、下記の通り開催します。

また、2005年9月にオープンした公益情報ポータルサイト「CANPAN」(運営:日本財団)の紹介も、併せて行います。

よりよい協働をめざし、今後の協働環境づくりに関心を持つみなさまのご参加を、お待ちしております。

日時:2006年1月13日(金)14:00~17:00 (13:30開場)

会場:北海道NPOサポートセンター札幌ビル8階研修室

(札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階 JR札幌駅徒歩5分)

対象:自治体関係者(NPOとの協働推進の担当者や、協働に係る各種施策の担当者等)

NPO関係者(自治体との協働事業を実践している方、これから協働事業に取り組もうとしている方、

自治体との協働に関心のある方、協働関連施策の各種委員等に携わる方等)

近隣地域の間支援組織、社会福祉協議会関係者

内容:(1)調査概要報告、質疑応答

(2)CANPANのご紹介

(3)ワークショップ「よりよい協働環境を実現するために」

(4)補足解説など

報告者:川北秀人(IIHOE代表)、芝原浩美(同上級研究員)

松本公洋(北海道NPOサポートセンター 本調査担当)

定員:30人(先着順)

参加費:2,000円

* 報告会当日は、報告書を6000円で販売しています。(一般販売価格6300円)

* 報告書をすでに入手されている方は必ずお持ちください。

主催:北海道NPOサポートセンター

共催:IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]

お申込み方法(先着順)

お名前・ご所属団体名・役職(担当業務)・連絡先ご住所・電話番号・FAX・Eメールアドレスを担当者まで、EメールまたはFAXにてお申込みください。

問い合わせ/申込先:北海道NPOサポートセンター

TEL.011-271-5208(担当:松本)FAX.011-281-8807 Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

厚生労働省委託 コミュニティ・ビジネス支援事業

起業・就業講習 「社会参加講習会」の開催

受講料無料

対象 若年ニート、フリーター対象。(定員30名)

内容 講習(座学、ワークショップ、実習、見学。ジョブシャドーイング等)

日程 第1回 12月10日(土)・11日(日)

第2回 2月11日(土)・12日(日)

第1回、第2回とも同じ内容です。

土曜日 10:00~16:00(予定)

1時限目 講義/「起業・就業「働く」ということ

2時限目 アイスブレイキング/CBやNPOの基礎知識の習得

3~4時限目 講義/コミュニティ・ビジネス

5~6時限目 講義/思いをかたちに 事業趣旨と事業計画モデル

日曜日 10:00~16:00(予定)

7~8時限目 講義とビデオ鑑賞またはCB先進事例に学ぶ(実習)

9~11時限目 CB・POWER ツアープラス1(現地見学とCB代表者との座談会等)または実習

12時限目 まとめ

問合せ・申込み

北海道NPOサポートセンター・相談センター(担当:松本)

TEL 011-271-5208 FAX 011-281-8807 Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

住所・氏名・年齢・連絡先等をFAX又は、Eメールにてお送り下さい。

書籍案内

『NPOの参考書』

NPO法人向け諸届け出ガイドブック
事務所に1冊必携のマニュアルです。

- ・ 設立登記（法務局）
- ・ 登記完了届（道庁）
- ・ 変更登記（法務局）
- ・ 事業報告書等の提出（道庁）
- ・ 任期満了に伴う役員の変更（法務局と道庁）
- ・ 任期途中の役員の変更（法務局と道庁）
- ・ 事務所移転（法務局と道庁）
- ・ 定款の変更（法務局と道庁）

諸届ひな型のCD付き

定価 2,100円（税込）

2005年5月28日発行

【問合せ】

北海道NPOサポートセンター
TEL 011-204-6523
FAX 011-261-6524
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



飛んでけ！ 車いすの会 映像記録製作

札幌発、世界50カ国へ、1000台を届けました。!!

「飛んでけ！車いす」の会の活動の裏も表も見てください。

「Go!Fly! 飛んでけ！車いす」(56分)

VHS版・DVD版 個人用 3000円

団体用 5000円

【試写の感想】

「いろんな人がこの映像を見ることで自分に出来る何かを感じ取れるのではないのでしょうか。」

(南区のお母さん)

「撮影と構成のしっかりした第一級のドキュメンタリー作品です。」(トヨタ財団 青木さん)

「百聞は一見にしかずです。話だけでなく、現場も体現できます。」(豊平区 U子さん)

申込、お問い合わせは「飛んでけ！車いす」の
会事務局 電話・FAX 011-242-8171
メール tondeke@anet.ne.jp



NPOな...

書籍案内 札幌市介護保険・福祉サービス
事業所ガイドブック

好評発売中!

2004年12月発行

札幌市内の介護保険・福祉サービス事業所1,457箇所及び札幌市内にサービス提供する市外事業所(名称、住所等の基本情報のみ)、札幌市在宅介護支援センターの情報を掲載しています。サービス提供地域・時間、人員体制、利用料、系列サービスなどの情報が満載!です。

介護保険事業所は在宅・施設サービス、対象外事業所は在宅系のホームヘルプ、理美容、配食、ミニデイ、移送、施設系の養護老人ホームなど各事業所(今年から生活支援ハウスも掲載)を網羅。

区別・サービス別・法人別、3種類の索引で探しやすくてきています。

■価格:2,000円(税込み)

A4判(470ページ)送料別途



【問合せ】北海道NPOサポートセンター

TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

ボラナビ.net



北海道を元気にする

ボランティア検索サイト

<http://www.npohokkaido.jp/volunavi.net/>

「ボランティア体験記」募集中

抽選で5名に一万円が当たる!

(第2回締切11月30日)

お問合せは、

NPO法人 ボラナビ倶楽部まで

TEL/011-242-2042

FAX/011-242-2043

E-mail volunavi@npohokkaido.jp

情報BOX

ナチュラブ北海道

徹底討論！「都市で暮らす・地方で生きる」

都市には都市の役割があり、農山漁村をはじめとする地方には地方の役割がある。それは今の我々が知っている経済合理性だけで説明のできる単純なものではない。経済だけでは説明のつかない多様な要素の相互作用が、生きる喜びを感じる人の暮らし・生き方を育てている。

経済合理性を超越した様々な要素の深淵な関わりについて紐解き、我々の今後の進むべき方向を少しでも明らかにしたいというのが、この第7章の目的である。

宮口侗迪先生は、富山県に居をかまえながら、東京の大学で教鞭をとり、さらに全国各地を歩き回り、現場の実態を体に叩き込みながら日本を俯瞰する、数少ない知恵者でいらっしゃる。この宮口先生に、自由競争経済や二分法による安易な価値にどう立ち向うべきか示唆を頂きたい。

日時：11月13日(日)13時00分～16時30分

会場：エルプラザ3階大ホール

講演：宮口 侗迪(みやぐち としみち)

早稲田大学 教育・総合科学学術院教授

テーマ「北海道社会への改めでの期待

- 都市と農村それぞれの協働の創造 -」

討論：宮口 侗迪・早稲田大学教育学部教授

上田 文雄・札幌市長

逢坂 誠二・衆議院議員(前二セコ町長)

=====

コミュニティビジネス全道フォーラム

「コミュニティビジネスの新たな発展をめざして」

～地域課題解決型ビジネスを生み育てる仕組みを考える

日時：11月18日(金)14時～17時

会場：KKRホテル札幌3階「鳳凰」

札幌市中央区北4西5 電話 011-231-6711

参加対象者：全道・地域レベルの経済関係団体、

NPO中間支援組織、市町村、道職員など

内容：基調講演(60分)

テーマ：地域で支えるコミュニティビジネス(仮題)

講師：国枝 哲男 NPO法人コミュニティ・サポート

センター神戸事業本部長

パネルディスカッション(90分)

「連携協力によるコミュニティビジネスの育成支援」

・コーディネーター 河西邦人・札幌学院大学商学部教授

・パネリスト 瓜田 豊・(財)北海道中小企業総合支援センター総合支援部長

坂本和昭・北の起業広場協同組合専務理事

高木晴光・NPOバンク事業組合理事長

太田明子・ビジネス工房代表

坂内伸一・岩見沢市経済部商工労政課長

・アドバイザー 国枝哲男CS神戸事業本部長

(ディスカッションの内容)

・道内(地域)のコミュニティビジネスに関する動き

・求められるコミュニティビジネス育成支援策

・コミュニティビジネスの育成振興に向けた地域(関係団体等)の連携協力のあり方等

参加料：無料 主催：北海道

問合せ・申込み先：北海道経済部新産業振興室新産業創業

グループ 直通電話(011)204-5313

交流会17時30分～(会費：3,000円)別途予約

木とふれあい、木に学び、木と生きる

『木育(もくいく)リビング』のご案内

私たちが提案したい“住まい”でのくつろぎや、木との

ふれあいをテーマとした“木育ライフ”。これらを、住まいや地域の“居間(リビング)”に見立てた空間で体験・体感しよう！という取り組み。

NPO法人北海道子育て支援ワーカーズ主催の『おもちゃフォーラム2005』の会場内に初オープン！

木育リビングの会場

日時：11月22日(火)、23日(水)

10:00～16:00

場所：札幌市社会福祉総合センター3階 第2会議室

(札幌市中央区大通西19丁目)

木育リビング入場・講座受講料：無料

1階受付で『おもちゃフォーラム』参加費1人100円

をお支払いの上、お越してください。

今回の取組の目玉！【ポプラ・リビング】

昨年の台風18号で倒木した北大ポプラ並木から切り出された木材(長さ2.4m、幅1.0m)が“リビングテーブル”として、やってきます！90歳の歴史を肌で感じてみませんか？

【リビング講座開講】(無料)2つの講座を開講します。ともに、生まれたてのオリジナル教材が魅力！両講座ともに所要時間は30分から45分程度です。

講座1 煙山さんの「木育体感講座」

木工デザイナー煙山さん(木育ファミリー代表)が開発した、木育教材「木育の玉手箱」が登場します。

ルーペでみる木肌は圧巻です！簡単な工作「木のマグネット作り」にも挑戦してください。

11/22(火) 15:00

11/23(水) 10:00 15:00

講座2 女性建築家による「子どもをはぐくむ住まいづくり講座」

健康で元気な子どもを育む住まいづくりのために大切にしたいことをまとめた1冊の本「子どもをはぐくむ住まいづくり」をご紹介します。木育リビング内では、この本の内容をパネルで紹介しています。

11/22(火) 14:00

11/23(水) 11:00 14:00

主催：木育リビング実行委員会

(木育を進める会「木育ファミリー」(社)北海道建築士会女性委員会)

協力：NPO法人北海道子育て支援ワーカーズ、

(有)ホリー技研、北海道

この取組へのお問い合わせ

「木育リビング実行委員会」事務局 岩井

(北海道知事政策部内)

電話011-231-4111(内線21-159)

FAX:011-232-6313

メール:sogo.seisaku1@pref.hokkaido.jp

【環境NGOのための組織マネジメント講座】

「環境NGOにとってのマネジメントの課題とは

なんだろう。～ねおすから学ぶNGOマネジメント」

環境NPOである“ねおすグループ”の事例をもとに、みなさんの目標を達成するために必要な人材育成や資金調達、協働の手法などについて、改善企画をつくります！

[日時]2005年12月3日(土)10:00～18:00

12月4日(日)10:00～16:00

[場所]かでの2.7(札幌市中央区北2西7)1010室

[対象]環境NGO・NPOのスタッフあるいはテーマに関心のある方

[定員]30名(先着順) [参加費]2000円

[スケジュール]12/3(土)

セッション1 事業における資金調達の事例と課題
 話題提供者：荒井 一洋（大雪山自然学校代表）
 セッション2 NPO法人ねおすの人材育成システム
 話題提供者：高木 晴光（NPO法人ねおす 代表）
 セッション3 行政との協働
 話題提供者：遠藤 潤
 （登別市ネイチャーセンターふおれすと鉱山）
 その後、懇親会（希望者）を予定
 12/4（日）
 「課題解決に向けた企画づくり」ワークショップ
 セッション4 各団体のミッション・目的の整理
 セッション5 課題を目標へブレイクダウンする
 セッション6 課題解決型企画づくり発表
 ふりかえり

コーディネーター・ファシリテーター
 宮本 英樹（NPO法人ねおす 専務理事）
 助言・評価者 川村 研治
 （地球環境パートナーシッププラザ）
 大西 かおり（大杉谷自然学校 代表）
 [主催] 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金
 [申し込み・問い合わせ先] NPO法人ねおす事務局
 〒064-0952 札幌市中央区宮の森2条14丁目1-14
 TEL 011-615-3923 FAX 011-615-3914
 E-mail: npo@neos.gr.jp
 URL http://www.neos.gr.jp

=====

地域たすけあい研修会 in 岩見沢
 ~住み慣れた地域で だれもが心豊かに『尊厳ある暮らし』を継続していけるように~
 開催日 平成17年11月27日（日）
 受付 9時30分より
 時間 10時~16時
 会場 岩見沢市コミュニティプラザ2階
 岩見沢市有明町南1番地20
 0126-25-8014
 参加費 無料（ただし資料代として500円）
 定員 100名（各分科会定員25名）
 主催 財団法人さわやか福祉財団
 共催 さわやか北海道ブロック
 協賛 日本自転車振興会

実施団体 NPO法人シーズネット空知支部
 後援 北海道、岩見沢市、社会福祉法人北海道社会福祉協議会、社会福祉法人岩見沢市社会福祉協議会、NPO推進北海道会議、北海道NPOサポートセンター、さわやかオホーツクねっと、旭川NPOサポートセンター、赤平市民活動支援センター、北見NPOサポートセンター、コープくらしの助け合い（予定も含む）
 お申し込み・問合せ先 NPO法人シーズネット空知支部
 担当 富樫（10時~17時まで）
 〒068-0022 岩見沢市2条西8丁目2-2 湯本ビル2F
 電話 0126-25-6770 FAX 共通
 FAXか郵送で11月21日（月）までにお申し込みください。

=====

札幌クリスマスパーティー 出店募集
 クリスマスパーティー
 日時：2005年12月10日（土）
 午後1時30分~4時
 会場：北海道難病センター（完全バリアフリー）
 札幌市中央区南4条西10丁目
 入場料：無料
 内容：生ビール、綿アメ、コーヒーその他有料で屋台が

出ます。申し込みの必要はありません。当日、直接会場へおいで下さい。上記パーティーについて、出店者を募集します。長テーブル1本をお貸ししますので、その範囲で準備できるものをお考え下さい。必要な機器類はご自分で用意して下さい。料金は常識の範囲内で決めていただいて結構ですが、できれば「チャレ」を使えるようにして下さい。
 締め切り：11月30日（水） 出店料：500円
 出店例：フリーマーケット、焼きそば、クッキーetc
 申し込み：FAXかメールで札幌チャレンジまで
 お名前、連絡先、販売するものを明記して下さい。
 NPO法人札幌チャレンジド
 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目
 札幌ビル8F TEL 011-261-0074
 FAX 011-219-1811
 challenged@s-challenged.jp
 http://www.s-challenged.jp/

助成金情報

インターネット環境にないNPOのみなさまへ「助成金を申請したいが、情報を上手く収集できない」という声を良く聞きます。
 最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得(ダウンロード)する方式が増えていきます。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。
 北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環境にないNPOの為に、IT推進NPOの紹介 パソコンの導入設定・インターネット環境整備支援 助成金情報取得支援/助成金申請サポートを行っています。(地域によって対応できない場合があります) 詳細はお問い合わせください。
 電話011-204-6523 (担当: 畑)
 下記の助成金情報については助成元からの依頼情報(抜粋)です。インターネット環境にないNPOのみなさんに、募集要綱などのFAXサービスを行います。(NPO推進北海道会議または北海道NPOサポートセンター会員へのサービスです。)

J T 青少年育成に関する NPO 助成制度

2006年度助成募集要項 11月15日〆切
【助成の主旨】現在の日本の社会は様々な課題を抱えており、中でも重要な課題として、地域コミュニティの再生が挙げられます。当社では、その課題を解決していくのは社会を構成する「人」と考え、人材育成、とりわけ次世代の社会を担っていく「青少年の育成」に焦点をあてて、非営利法人(NPO)が地域社会の核となっていく事業で、青少年の健全な育成につながる事業に助成を行います。
 本プログラムは、「福祉の増進」「社会教育の推進」「環境の保全」など分野を区切った助成ではなく、「青少年の育成」をテーマとした、分野を問わない助成となります。
募集内容
 1. 応募資格について
 (1) 法人格
 非営利法人で、かつ2005年9月30日時点で法人として1年以上の活動実績を有する法人。
 (2) 事業実施期間
 2006年4月1日~2007年3月31日に実施を計画している事業であること。
 2. 助成内容について
 (1) 対象経費 申請事業に関わる事業費および人件費。
 (2) 限度額 年額最高200万円。

(3) 助成件数 30 件程度を予定しています。

(4) 対象事業

非営利法人が日本国内において、地域社会の核となって実施する青少年の健全な育成につながる事業。例えば、青少年が地域社会へ参画する事業、青少年が様々な人々と交流または様々な体験をする機会を提供する事業、青少年を育成するための指導者・リーダー等の養成、あるいはこうした事業の基盤整備(体制、プログラム、場所等の整備、広報)など。

育成の対象となる青少年は、小学生から高校生までを考えています。

日本たばこ産業株式会社パブリックリレーション部社会貢献室〒105-8422 東京都港区虎ノ門 2-2-1JT ビル
TEL:03-5572-4290 FAX:03-5572-1441

トヨタ財団地域社会プログラム

11月21日〆切
趣旨:基本テーマ「地域社会の再構築を目指して-支え合うくらしといのち-」のもと、以下の目的で公募を実施します。

- 1.グローバル化にともない空洞化や荒廃にさらされている、「くらしといのち」を支える場である「地域社会」の再構築と活性化を目指す。
- 2.また、そのような再構築と活性化に取り組んでいる地域の人々や地域に根ざした活動を結びつけるネットワークづくりを狙いとする。

助成の対象:助成分野として、以下の2分野です。

(1)活動助成

地域社会の再構築と活性化を目指し、地域にくらす人々が主体となった実践的なプロジェクトへの助成。1件あたりの助成金の上限は200万円とします。

(2)成果普及助成

以下2カテゴリーあります。1件あたりの助成金の上限は(A)100万円程度、(B)400万円とします。

(A)地域社会の再構築と活性化を目指した活動の具体的な成果を、他の地域で類似した実践をしている人たちと比較、共有することを目的とした「活動記録の出版」。

(B)地域社会の再構築と活性化を目指した活動の経験からたくわえられたものを、地域間で共有し広めるための「広域ネットワーク」。

申込・問合せ:トヨタ財団/〒163-0437 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 37 階
TEL03-3344-1701/FAX03-3342-6911

キリン福祉財団

11月22日〆切

対象事業:「地域における子育て支援ボランティア活動」
対象団体:地域福祉活動を目的とする民間団体で、4名以上のメンバーが中心となって活動するグループで、法人格の有無は問いません。

事業実施期間:平成18年4月~平成19年3月

助成金額:1件(一団体)当りの上限額30万円

選考方法・発表:選考委員会(専門家5名で構成)において選考を行い、結果は平成18年3月下旬までに申込団体すべてに文書にてご通知します。

助成開始時期:平成18年4月下旬以降

申込受付期間:11月22日(火)(当日消印有効)

申込方法・問合せ:(財)キリン福祉財団事務局

〒104-8288 東京都中央区新川 2 丁目 10 番 1 号

TEL 03-5540-3522 FAX 03-5540-3525

ホームページ <http://www.kirin.co.jp/foundation>

日本郵政公社

11月30日〆切

「日本郵政公社が年賀寄附金配分による社会貢献事業への助成金申請を公募します」

年賀寄附金配分事業は社会貢献事業の「物」、「活動」の両分野をカバーする日本有数の助成金です。

1件あたりの配分上限金額は500万円といたしました。前回の配分決定件数と申請件数の比率は50%弱となっています。(平成17年度に配分を受けた法人の方は、今回は申請できません。)可否の通知は平成18年4月末を予定しています。

応募対象:社会福祉法人、更生保護法人、民法第34条の規程に基づく法人(社団法人、財団法人)等および特定非営利活動促進法に基づく特定非営利活動法人(NPO法人)で以下の対象事業を行うもの

対象事業:ア社会福祉の増進を目的とする事業 イ風水害、震災等の非常災害による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業 ウがん、結核、小児まひその他特殊な疾病の学術的研究、治療又は予防を行う事業 エ原子爆弾の被爆者に対する治療その他の援助を行う事業 オ交通事故の発生もしくは水難に際しての人命の応急的な救助又は交通事故の発生若しくは水難の防止を行う事業 カ文化財の保護を行う事業 キ青少年の健全な社会教育を行う事業 ク健康の保持増進を図るためにするスポーツの振興のための事業 ケ開発途上にある海外の地域からの留学生又は研修生の援護を行う事業 コ地球環境の保全(本邦と本邦以外の地域にまたがって広範かつ大規模に生ずる環境の変化に係る環境の保全をいう。)を図るために行う事業

助成金額:1件あたり上限500万円(下限特になし)総額約8.8億円(前回実績)

問い合わせ先:<http://www.post.japanpost.jp/kifu/>にあるFAQ、あるいは最寄りの郵便局

〒100-8798 東京都千代田区霞が関1丁目3番2号

日本郵政公社 郵便事業総本部 年賀寄附金事務局

電話 03-3504-4401 FAX 03-3580-5399(土日祝日を除く 10:00~17:00 除く 12:00~13:00)

- 観光と環境の両立に向けて -

助成事業:「平成18年度 JATA 環境基金 地球にやさしい市民活動支援助成」事業 12月20日〆切

【助成事業概要】

対象事業:観光地における「自然や文化遺産を保護する事業」、「環境に配慮した観光の発展に寄与する事業」

対象団体:日本国内に事務所を有する、市民主導のボランティア団体。特に、海外活動への助成を申請する団体の場合は、NPO法人格を有していることを条件とします。

実施期間:平成18年4月1日から平成19年3月31日までに実施される活動を対象とします。

助成金額:原則として、1団体につき100万円を限度に助成します。

募集期間:平成17年10月20日~12月20日

(消印有効)

問い合わせ先:JATA 業務部業務第2グループ

TEL 03-3592-1275 FAX 03-3592-1268

ネット検索 JATA 環境基金

平成18年度北海道高齢者問題研究協会

調査研究事業(一般研究)募集要領(概要)12/20〆切

1.趣旨 財団法人北海道高齢者問題研究協会は、高齢社会に関わる諸問題について、長期的展望に立って総合的、実践的、学際的な調査研究を行い、その成果を公表し、もって、道民福祉の向上に寄与することを目的として事業を

推進しています。

2. 研究課題 研究は、北海道における地域性、政策志向、福祉実践等に関わる諸問題の研究とします。ただし、医学的研究については、臨床医学、基礎医学を除きます。研究課題は、次に掲げる調査研究項目の範囲で応募してください。

調査研究項目

- (1) 家族・世帯 6 保健・医療
- (2) 就業・雇用 7 福祉・社会保障
- (3) 居住・社会環境 8 地域・コミュニティ
- (4) 学習・社会参加活動 9 制度・施策
- (5) 健康・老化

3. 研究員 (1) 研究計画が採択された場合は、当該研究に参画する研究者を協会の研究員として委嘱します。

(2) 研究員の参画できる課題は、原則として1課題とします。

4. 研究費

(1) 研究費の額は、1課題100万円以内とします。(平成17年度実績は、総額307万円で採択数は6課題です。)

(2) 研究費は、研究に必要な直接経費のみとし、機械・器具等の備品購入費及び道外旅費は対象外とします。

5. 研究期間 平成18年4月1日から平成19年1月31日までの期間内とします。ただし、北海道の地域特性により、冬期間を含む研究調査を実施する場合は、研究期間の延長(特例)を認めます。

6. 応募資格 大学・学校、研究機関、社会福祉施設、病院、各種関係団体の職員など、高齢社会及び高齢者問題に関心のある方とします。

7. 応募方法等

ネット検索 北海道高齢者問題研究協会

募集締め切り 平成17年12月20日(火)

(当日消印有効)

問い合わせ/提出先

財団法人北海道高齢者問題研究協会

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目

北海道医師会館5階

TEL 011-222-6727 FAX 011-222-6950

新設! 第1回札チャレの夢・助成 12/31〆切

~あなたは100万円で何をしますか~

札幌チャレンジドでは、チャレンジド(障害のある方)からITを活用した事業を企画・提案していただき、その内3名を選んで最大100万円の助成を行なう「札チャレの夢・助成」を行なうことになりました。ぜひユニークな発想であなたの夢を実現してください。必要であれば札幌チャレンジドが企画の実現にあたってお手伝いをさせていただきます。

以下の募集要項に従って、ご応募ください。

募集要項

1. 目的

社会的に意義のあること、試みたいことをチャレンジド自らが発案・実現することを援助し、チャレンジドの社会参加や就労支援の一助とする。

2. 応募内容の条件

パソコンやインターネットなどのITを何がしかの形で使うもの(関係するもの)であればどんな内容でも構いません。自由に考えてください。

(例)技術研修会、講演会、ホームページ作成、就労につながること etc

3. 応募方法、期限

平成17年12月31日までに札幌チャレンジドにメール又は郵送で、企画内容を書いた資料を送付してください。様式は自由です。実施する内容の目的、実施内容、費用(内訳含む)、実施者を必ず明記してください。

応募期限 : 12月31日

一次合格者の面談 : 1月下旬

最終発表 : 2月上旬

事業の実施時期 : 平成18年4月~平成19年3月の間

4. 採用数

3件(1件あたり最大100万円まで助成します)

5. お問い合わせ TEL 011-261-0074

FAX 011-219-1811

challenged@s-challenged.jp

http://www.s-challenged.jp/

第4回 日本都市計画家協会協会賞 12/31〆切

1. 募集内容

日本まちづくり大賞

まちや地域づくりの取り組みに成果を挙げた市民、団体、企業、地方自治体等の取り組みを表彰します。

特別賞

まちづくり教育部門賞

学生まちづくり部門賞

北海道支部賞

浜松支部賞

横浜支部賞

表彰部門の構成と賞金

総額100万円(大賞総額50万円、特別賞各10万円)

応募期間

2005年9月1日(木)~2005年12月31日(土)

2. 応募方法 所定の書式による応募書類を郵送または持参して提出してください。

問い合わせ ネット検索 日本都市計画家協会

または、FAX 03-5401-3389

NPO法人 **NPO推進北海道会議**

代表理事 田口 晃 (北海学園大学教授)

杉岡 直人 (北星学園大学教授)

杉山さかえ (北海道グリーンファンド 理事長)

事務局長 佐藤 隆

NPO法人 **北海道NPOサポートセンター**

理事長 杉山さかえ 事務局長 小林董信

NPO法人 **北海道NPOバンク**

理事長 杉岡 直人

NPOバンク事業組合 理事長 高木 晴光

NPO法人 **北海道NPO越智基金**

代表理事 田口 晃 事務局長 北村美恵子

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目

クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@npo-hokkaido.org

URL http://npo-hokkaido.org/

相談センター/研修室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目

札幌ビル8階 電話011-271-5208

FAX 011-281-8807